

Plan

事業名	天竜浜名湖鉄道対策事業			事業類型	内部管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	2款	1項	8目		事業1	25	事業2	41
担当部署	部	企画部			課	市民協働課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-⑤利用しやすい公共交通			
事業の目的	天竜浜名湖鉄道の経営の安定を図り、地域住民の交通手段の確保と地域活性化を図る								
事業の概要	天竜浜名湖鉄道の利用促進と地域のマイルール意識を高め、財政的支援を計画的に行うことで経営を長期安定化する								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		天竜浜名湖鉄道経営助成基金への負担金 天竜浜名湖鉄道市町会議での利用促進 小学生入学祝い乗車切符の助成事業 敬老記念乗車切符の助成事業 天竜浜名湖線を利用した婚活イベントの実施	財源内訳	国庫支出金	0
		県支出金	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	423	423	423
		一般財源	10,407	9,988	9,988

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定	判定理由					
事業の評価	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容
事業費 拡大	各種施策やイベントが継続的な利用促進につながるよう工夫が必要である 他の公共交通機関との相互連携を促進する必要がある 次期経営計画の策定に関する協議をしていく

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	沿線住民のための大切な公共交通手段を維持していく	沿線住民のための大切な公共交通手段を維持していく	沿線住民のための大切な公共交通手段を維持していく
事業費(千円)	72,825		

Plan

事業名	バス事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	2款	1項		8目	事業1	25	事業2	38
担当部署	部	企画部			課	市民協働課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-⑤利用しやすい公共交通			
事業の目的	市民の日常生活における交通手段の確保を図り、快適な住まい環境を図る。特に、高齢者や通学児童、生徒、通勤者の日常生活の移動手段を確保する								
事業の概要	市民の通勤通学や通院、買い物のための利用の利便を図るために、コミュニティバスを運行をする								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		
		当初予算額	決算額	
<ul style="list-style-type: none"> 各地区からJR駅へ運行する7路線を車両6台で運行するコミュニティバス事業の実施 コミュニティバスのダイヤ及びルートの変更 デマンド型乗合タクシーの検討 運転免許証自主返納者等への無料乗車券(2年間)の交付 	財源内訳	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		市債	0	0
		その他	570	570
		一般財源	69,640	70,498

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
		コミュニティバス年間利用者数		81,362	90,000	83,263

事業の評価	判定		判定理由
	必要性	A	市民の通勤通学や通院、買い物のための利用の利便性を図るためにコミュニティバスの運行
	有効性	A	市民の通勤通学や通院、買い物のための利用の利便を図るためにコミュニティバスの運行を図っている
	効率性	B	コミュニティバスのバス車両の小型化や運行時間の縮小を行う。より利便性を図るため、利用者が少ない路線の運行方法の見直しを検討する。
	総合評価	A	コミュニティバスは、年々増加している。また、需要の少ない地域や交通空白地域となっている地域に対応するため、新たな公共交通であるデマンド型乗合タクシーの実証実験の運行を始めた

Action

今後の方針	内容
事業費 維持	利用者の少ない路線の運行方法の見直しを検討するとともに、各地区からJR駅へ運行する8路線7台で運行するコミュニティバス事業の実施をする。また、新たな公共交通であるデマンド型乗合タクシーを白須賀地区で運行し、バス事業の運行を検討する。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 各地区からJR駅へ運行する8路線を車両7台で運行するコミュニティバス事業の実施 コミュニティバスのダイヤ及びルートの変更 白須賀地区において、デマンド型乗合タクシーの実証運行から本格運行を検討する 自主運行バスのコーちゃんバス化する 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区からJR駅へ運行する8路線を車両7台で運行するコミュニティバス事業の実施 コミュニティバスのダイヤ及びルートの変更 市内において、デマンド型乗合タクシーを実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区からJR駅へ運行する8路線を車両7台で運行するコミュニティバス事業の実施 コミュニティバスのダイヤ及びルートの変更 市内において、デマンド型乗合タクシーを実施する
事業費(千円)	226,731		

Plan

事業名	地域公共交通対策事業			事業類型	内部管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	2款	1項	8目		事業1	25	事業2	40
担当部署	部	企画部			課	市民協働課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-⑤利用しやすい公共交通			
事業の目的	市内の公共交通を総合的に見直し、より利便性の高い、市民に利用される地域公共交通サービスの充実を図る								
事業の概要	地域公共交通会議では、市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保を図り、利用者がより便利に利用できる施策や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。また評価改善委員会において、計画に基づいた進行管理を行い、運行の見直しや利用促進策の見直しにつなげる。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		地域公共交通会議の開催(4回) バス運行評価改善委員会(3回) 地域公共交通網形成計画の作成 デマンド型乗合タクシーの実証実験(3月から) コーちゃんバスを上手に利用する会の発足	財源内訳	国庫支出金	0
		県支出金	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	3,744	3,369	
		一般財源	11,336	11,614	

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定	判定理由					
事業の評価	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費 拡大	デマンド型乗合タクシーの運行について、市内での導入を検討していく	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	地域公共交通会議の開催(4回) バス運行評価改善委員会(3回) デマンド型乗合タクシーの実証実験 コーちゃんバスを上手に利用する会の開催	地域公共交通会議の開催(4回) バス運行評価改善委員会(3回) デマンド型乗合タクシーの運行業務 コーちゃんバスを上手に利用する会の開催	地域公共交通会議の開催(4回) バス運行評価改善委員会(3回) デマンド型乗合タクシーの運行業務 コーちゃんバスを上手に利用する会の開催
事業費(千円)	29,869		